高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～8組
 教科担当者：（1組：菊地）（2組：吉田）（3組：菊地）（4組：吉田）（5組：菊地）（6組：吉田）（7組：菊地）（8組：吉田）
 使用教科書：（「文学国語」東京書籍）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
随筆「光の窓」「雨月物語」 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・「光の窓」「雨月物語」を読んで随筆という文学ジャンルについて理解する。 ・「光の窓」を読み、文章に使われている、表現、語句、比喩について理解する。 ・文章で書かれている子供の感覚について理解する。 ・大人の感覚との比較について考えさせる。 ・「雨月物語」を読み、文章に使われている、表現、語句、比喩について理解する。 ・「子供の物語」について、自分自身の経験を振り返らせる。 ・「大人の物語」と「子供の物語」の対比について理解させる。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。（ワークシート） 【思考・判断・表現】 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。（ワークシート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。（行動の観察・学習活動の振り返りシート）	○	○	○	16		
			定期考査		○		○	
小説 「山椒魚」 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・「山椒魚」を読み、文章に使われている、表現、語句、比喩について理解する。 ・人間以外のものを登場人物にしながら、人間の世界を描く試みについて、その効果と意味を考えさせる。 ・作者自身による、末尾の削除というかたちでの作品の改変について、考えさせる。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。（ワークシート） 【思考・判断・表現】 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。（ワークシート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。（行動の観察・学習活動の振り返りシート）	○	○	○	16		
			定期考査		○		○	
小説 「山月記」 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・「山月記」を読み、虎になる前の李徴はどのような人物だったか、その性格・生き方を中心にまとめる。 ・李徴が虎になった理由について告白する内容を整理する。 ・袁さんの人柄や境遇などに留意してまとめる。 ・袁さんは李徴の詩についてどのように考えているか、話し合う。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。（ワークシート） 【思考・判断・表現】 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。（ワークシート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。（行動の観察・学習活動の振り返りシート）	○	○	○	10		
			定期考査		○	○	○	10
小説 「こころ」 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・「こころ」全編を読む課題を事前学習として行う。 ・「お嬢さん」恋したことにより変化していく「K」の態度や様子を整理する。 ・「精神的に向上心のないものはばかだ」という言葉について「私」の意図「K」の心情を理解する。 ・関心のある作品を鑑賞し、原作との比較や批評を通して、その表現の違いについて理解を深める。 ・「K」の自殺の原因について話し合う。	【知識・技能】 ・言葉の持つ、想像や心情を豊にする働きがあることを理解している。（ワークシート・定期考査） 【思考・判断・表現】 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈できる。 ・作品の内容を踏まえ、人間、社会、自然などに対する物の見方、感じ方、考え方を深めている。（ワークシート・定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで、文学的文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。（行動観察・学習活動の振り返りシート）	○	○	○	16		
			定期考査		○	○	○	1
					○	○	○	合計
						70		